

寒田校区公民館だより

令和四年十一月号

第63号
編集・発行
寒田校区公民館
☎097-568-9442
勤務日は月水金
9:00~16:00

初亥（はつい）の日・・・

旧暦十月の初亥の日(最初の亥の日=筆者注本年は11月6日)、西日本を中心に「亥の子祭り」が行われます。田の神を祀る伝統的な秋の収穫祭です。この日は春にやってきた田の神が、刈り入れを終えて山に帰る日とされており、収穫をもたらした神に感謝して、猪の子に似せた形の「亥の子餅」をお供えします。

なぜ猪かというと、古来、猪は子をたくさん産むことから子孫繁栄の象徴とされており、平安時代には、十月の初亥の日に亥の子餅を食べて、無病息災や子孫繁栄を祈る宮中行事がありました。それがちょうど収穫の時期であったことから、しだいに収穫祭として一般に広く伝わったと考えられています。

また旧暦十月の亥の日は、古くから「こたつ開き」の日とされてきました。「亥」は、五行で火を司る水の気とされており、この日にこたつを出せば火の災いを防ぐとされたからです。

(『昔ながらの日本の暮らし』より)



10月度の西寒多大学は・・・

10月12日（水）、大分県教育庁文化課・櫻井成昭参事による～「おおいたの文化財」あれこれ！～という講演を行いました。

現在はなくなっていますが、以前、大分県統計協会というところが発行していた小さな冊子『大分県ミニ統計』がありました。その中に、「大分県のベストワン」という項目があります。つまり、大分県が日本一のものです。

温泉源泉数、湧出量、地熱発電、七島イ、サフラン、ホオズキ、

カボス、クヌギ、乾椎茸、石灰石、道路トンネル、ここまではいいですよね。問題は次です。県指定有形文化財（建造物）、市町村指定有形文化財（建造物）の二つです。・・・ん？と思いませんか。建造物の文化財の多さってすぐに思い浮かぶのは京都や奈良ですよね。どうして大分県が日本一多いんだろうか？

それを聞きたくて、櫻井参事にお願いをしました。

まず、「文化財」って何？・・・それは、地域の長い歴史の中で生まれ、育まれ、守り伝えられてきた貴重な地域の財産です。

「文化財」には大きく分けて、6つの類型があります。①有形文化財（建造物、美術工芸品）②無形文化財③民俗文化財（無形民俗文化財、有形民俗文化財）④記念物（史跡、名勝、天然記念物）⑤文化的景観⑥伝統的建造物群の6つです。大分の文化財の特色は、石造文化財の宝庫であり、多様な民俗文化財があることです。そして、みんなでその文化財を守っていこう、ということを学びました。・・・難しかったですね。

(あ～あ、もじもじ（文字文字）になった。すみません。)



11, 12月度の西寒多大学は・・・

11月度は屋外研修の予定です。

姫島の「車エビ祭り」は中止になりましたので、11月10日（木）に菊池渓谷と山鹿の灯籠記念館・八千代座を訪ねようかと考えています。今回は参加負担金がかかります。

12月度は人権講座の予定です。

12月14日（水）、マックビーン光子さんの講演を予定しております。事前予約は不要で、参加費は無料ですのでふるってご参加ください。



寒田校区まちづくり協議会だより

～笑顔の絶えないまち ふるさと そうだ～

第12号 令和4年11月
発行:寒田校区まちづくり協議会
事務局:寒田校区公民館内
電話:097-568-9442
勤務日:月水金 9:00~16:00

桜並木はいま...

西寒多神社へ続く道の桜並木も秋を感じ、葉を落としています。同じところにある木でも落ち方が違います。向こう側の木は何もなくなっているのに手前の木はまだいっぱい葉が残っています。

同じ陽光、同じ風を受けてい
るのに、なぜ？

咲くときは一斉に咲くのに、
葉が散るのに差があるのはなぜ？

やっぱり、木にも人と同じよ
うに個性があるのだろうか？

寒田川で気持ちよさそうに甲
羅干しをしていたカメは台風の
大水の後は見ないが、どうなつ
たのだろうか？

寒田校区って、自然がいっぱいいいですね。



秋の行事は...



ふるって参加しよう！

民生委員児童委員の交替

民生委員・児童委員は、民生委員法及び児童福祉法

に基づき、厚生労働大臣から委嘱された「地域福祉を担うボランティア」です。非常勤の地方公務員として位置づけられています。同じ地域で生活する住民の一員として、住民からさまざまな生活上の困りごとや心配ごとに関する相談に応じ、必要な支援を得られるよう、地域の専門機関への「つなぎ役」としての役割を担っています。

寒田校区では、18人が活動を行っていますが、この11月末で3分の1の6人が交替します。交代される方、ご苦労様でした。また新しくなられる方、よろしくお願いします。

すいなす引で進を行午当
てお。き用に釀い前初
コは、昨続意あ成ま八の
口、小年いしりしす時予
ナ豚雨度てまま、。」定
の汁のは、すす河寒一を
状と場コ九の。川田時変
況お合口時で軍淨川間更
にはナ半ふ手化の程し
関ぎ決禍かるや活清度て
わり行のらつゴ動掃、十
らのし為歩てミ・は寒一
ず配ま、こご袋環、田月
開布す中う参お境郷川二
催の。止会加茶保土の十
致み雨しをく等全を清日
しを天ま実だは活愛掃（
ま行時し施さ主動す活日
すいにたしい催のる動）
・まつ。ま。者推心を、

「秋の行事」について

人権講演会について

11月26日（土）13:00~15:00に大分南部公民館集会室で人権講演会が開かれます。今回の講師は、多文化共生教育啓発団体「ハナ」代表の徐 麻弥（ソマミ）さんです。

福岡県直方市出身の在日朝鮮人3世で、福岡県内各地で民族講師として小学校、大学、様々な研修で講演活動を行っています。

